

第48回 埼玉県 学校事務 研究大会

速報!

本大会テーマ
CHANGE（変化）をCHANCE（機会）に！
学校事務の充実は、学びの充実
～学校ガバナンス～

第48回研究大会は、皆様の御協力により無事に閉会することができました。多くの成果を得られた本大会の当日の様子をお伝えいたします！

北本市文化センター
平成28年10月18日（火）

参会者329名



開会式

当日は多くのご来賓の方々にご出席いただきました。埼玉県教育委員会教育長のご挨拶では「日頃、学校教育の充実、発展のためご尽力いただいていることに、心から敬意を表します。」また「今回の研究大会が、特色のある教育と、学校・家庭・地域が一体となった教育に活かされることを大いに期待しています。」とのお言葉をいただき、本研究大会が開会となりました。



埼玉県教育委員会講話

講話では、埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課 課長 関口 睦様よりお話をいただきました。その中で印象的だったのは、「自ら課題を見つけ、自ら考え、問題を解決する力が今の時代では大切」ということです。現代は変化が激しく、教育においても今の小学生が社会人となる時、6割近くの子供が今は存在しない職業に就くことが予想され、そのためには今のうちに自ら課題を見つけ、考え、そして問題を解決する力が必要とおっしゃっていました。学校も日々変化していくなか、事務職員も今後どうあるべきかを常に考えていかなければと思いました。

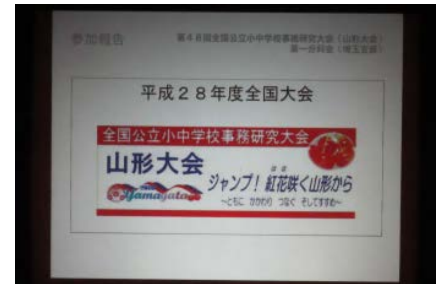


山形大会報告／全事研会長講話

山形大会報告では、山形の紹介から始まり、開会式から閉会式まで、特に埼玉事研が担当した第1分科会の様子をメインに報告がありました。当日回収したアンケートには「大会に参加した気分になった。」「機会があったら参加しようと思った。」など大会参加を前向きに考える声が多く聞かれました。

また全事研会長、鳥本氏からは、全事研の成り立ちや、運営の目的として「子供たちの教育のために、事務職員の資質向上がある。」とのお話がありました。

そして、5年後の平成33年には埼玉県で全国大会を主管します。普段は参加が難しくても全国大会の方から埼玉へやってきます！ぜひ全国大会独特の熱気・雰囲気を感じてみませんか？



研究発表／研究協議

研究発表では、埼玉県の事務職員が今後目指すべき事務職員像の1つの形として彩の国スクールビジネスマネージャー「SSBM」が提案されました。学校に求められること、事務職員に期待されることが大きく変化しているなか、その期待に応えるためには、ただ日常の職務をこなすだけではなく、学校運営を担うため各種マネジメント力を発揮し、地域とともにある学校づくりに寄与していくことが、これからの事務職員には重要であるとの発表がありました。会場では参加者一人一人がきれいなスライドに見入り、熱心に耳を傾けていました。

また、午後の協議では数人でグループを作り、各学校の地域との関わりの中で、事務職員、教職員がどのような役割を果たしているか話し合い、発表をしました。グループ同士や会場全体で有意義な意見交換ができ、大いに盛り上がりました。

助言者の先生からは、「先生はどうしても生徒中心になってしまいがちなので、事務職員のマネジメント力として、地域との連絡調整や物品調達等、その独自の目線を活かし活躍して欲しい。」と期待のお言葉をいただきました。

